

消防情勢



平成28年4月1日から、菰野町、四日市市及び桑名市は最先端の技術を駆使した高機能指令センターを設置し3消防本部による通信指令業務（119番通報受付、消防車や救急車の出動指令、消防無線統制等）の共同運用を開始しました。

三重北消防指令センター

平成28年4月1日から運用開始
於：四日市市中消防署中央分署内

菰野町の概要・位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

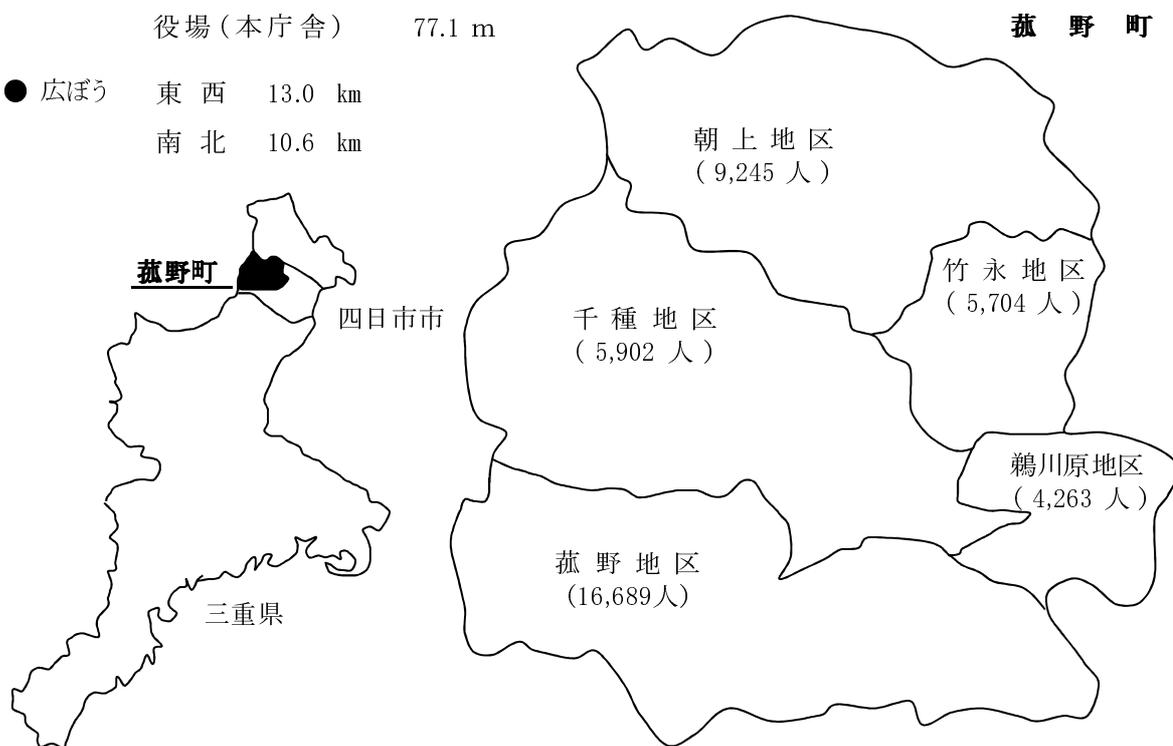
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,803 人
東経 136° 30' 25" (平成29.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 16,089 世帯
(平成29.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野消防のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定(内定)を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。(総務課消防防災係16名)

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。(コミュニティ防災センターを併設)
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足。**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車(CD-I型)購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車(30m級)購入。
10. 14 (社)日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

平成元年(1989)

1. 24 救急車(2B型)購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入。
- 3. 18 訓練塔竣工式。
- 12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入。
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（C D－I型）購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。(3年間)
- 9. 3~4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 3. 14 救助工作車(II型)購入。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 4.13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12.27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8.21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11.18 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成26年(2014)

- 3.24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入。

平成27年(2015)

- 1.31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8.26 消防支援隊発足。（35名）
- 11.26 高規格救急車購入。

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始。
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 7.26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8.24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

歴代消防長

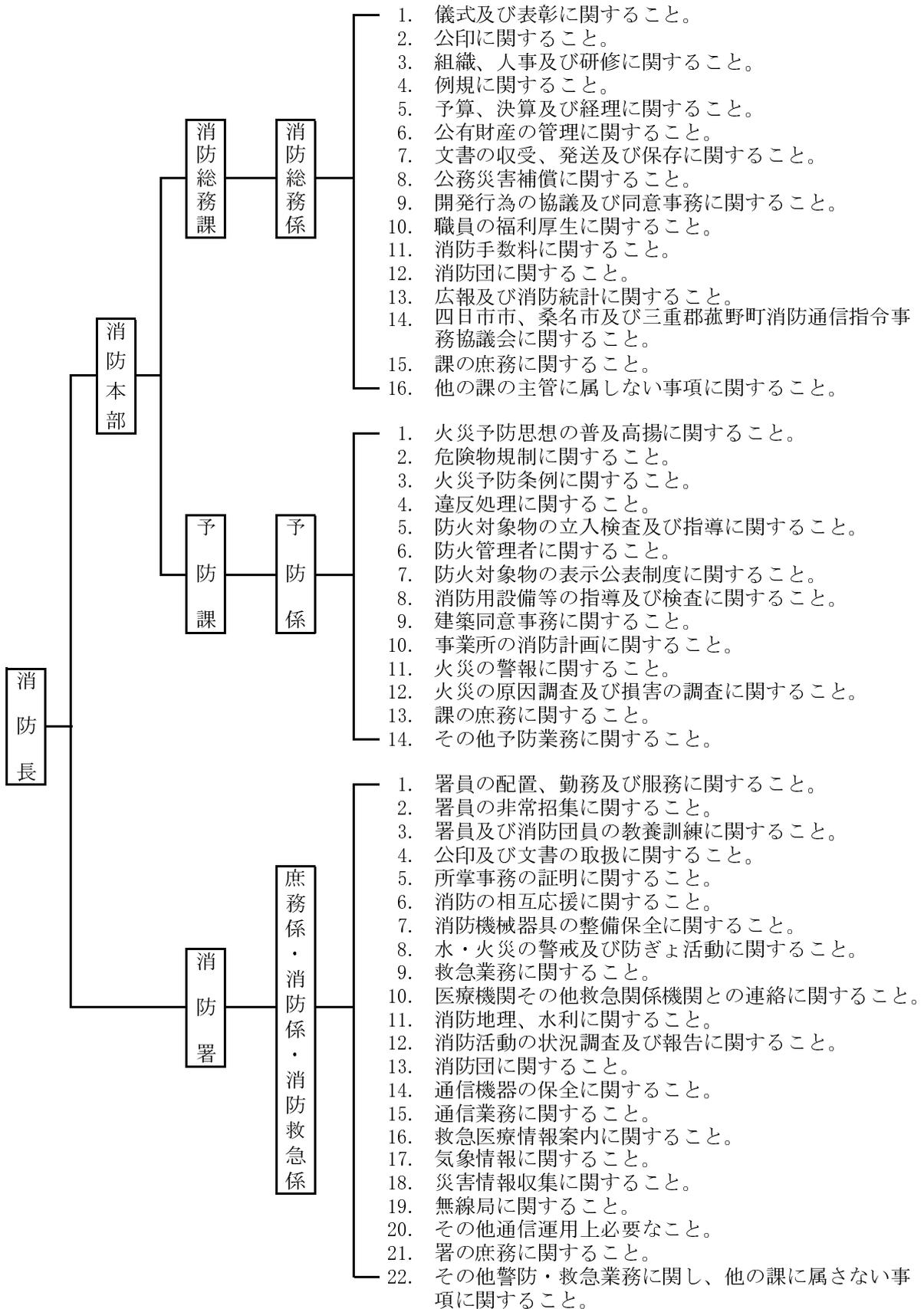
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月 31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月 31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月 31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月 31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月 31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月 31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月 27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月 31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月 31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月 31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	現	職

平成28年中の主な行事

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1. 17 | 消防出初式〔保健福祉センター「けやき」北駐車場〕 |
| 2. 25 | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔和光純薬工業株式会社三重工場〕 |
| 2. 28 | 防火広報〔町内一円〕 |
| 3. 1～3. 7 | 春の火災予防運動 |
| 4. 2 | 三重北消防指令センター開所式 |
| 4. 3 | 消防辞令交付式〔農村センター体育館〕 |
| 5. 19 | 菰野町防火協会理事会総会〔農村センター研修室〕 |
| 5. 31 | 菰野町水防訓練〔菰野町役場南 三滝川河川敷〕 |
| 6. 1 | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔株式会社東研サーモテック 三重工場〕 |
| 6. 5～6. 11 | 危険物安全週間 |
| 6. 26 | 菰野町消防団消防操法大会〔菰野町役場北駐車場〕 |
| 7. 26 | 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕 |
| 8. 24 | 全国消防救助技術大会〔愛媛県松山市〕 |
| 8. 28 | 菰野町総合防災訓練〔町内一円〕 |
| 8. 30～9. 5 | 防災週間 |
| 9. 1 | 防災週間に伴う特別消防訓練〔湯の山温泉湯元グリーンホテル〕 |
| 9. 4～9. 10 | 救急医療週間 |
| 9. 25 | 消防自動車写生大会〔消防本部〕 |
| 10. 26 | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕 |
| 11. 9～11. 15 | 秋の火災予防運動 |
| 11. 11 | 集団救急救護訓練〔消防本部〕 |
| 11. 13 | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社東洋テックス本社工場付近林野〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕 |

消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌

平成29. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度	区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成25年度		401,645	39,242	189,765	232	630,884
平成26年度		420,660	41,595	94,947	65	557,267
平成27年度		444,465	42,957	259,525	65	747,012
平成28年度		470,568	39,298	47,989	50	557,905
平成29年度		491,685	43,527	57,285	50	592,547

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度	区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成25年度		11,100,000	630,884	5.7
平成26年度		11,344,000	557,267	4.9
平成27年度		12,210,000	747,012	6.1
平成28年度		13,860,000	557,905	4.0
平成29年度		13,220,000	592,547	4.5

消防費に対する人口・世帯当り額

年度	区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成25年度		41,311	15,237	630,884	15	41
平成26年度		41,329	15,387	557,267	13	36
平成27年度		41,419	15,636	747,012	18	48
平成28年度		41,540	15,828	557,905	13	35
平成29年度		41,803	16,089	592,547	14	37

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポンプ自動車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポンプ自動車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	△ 1
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	7	△ 2

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	60	36	△ 24
		消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	5	0	
そ の 他 の 人 員		7	7	0		
合 計			75	51	△ 24	

平成29.4.1現在

職員階級別・所属別配置状況

平成29. 4. 1現在

所属	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防総務課		1	1	4	2		2	10
予防課			1	2	1	1		5
消防署			3	15	1	9	8	36
合計		1	5	21	4	10	10	51

職員階級別勤続年数状況

平成29. 4. 1現在

勤続年数	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満							2	2
1年							3	3
2年							2	2
3年							1	1
4年						2	1	3
5年								
6年						2		2
7年						1		1
8年						1	1	2
9年						1		1
10年						1		1
11年						1		1
12年								
13年					1	1		2
14年								
15年					1			1
16年				2	1			3
17年								
18年				1	1			2
19年				2				2
20年				3				3
21年								
22年								
23年				5				5
24年				1				1
25年				1				1
26年								
27年				1				1
28年								
29年			1	1				2
30年								
31年								
32年		1	4	4				9
合計		1	5	21	4	10	10	51

職員階級別年齢状況

平成29. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳						1	1
20歳							
21歳						1	1
22歳						3	3
23歳						1	1
24歳							
25歳						2	2
26歳						2	2
27歳					1		1
28歳					3		3
29歳					1		1
30歳					3		3
31歳					2		2
32歳							
33歳							
34歳				1			1
35歳				2			2
36歳				1			1
37歳							
38歳			1				1
39歳			1				1
40歳			1				1
41歳			3				3
42歳			2				2
43歳			1				1
44歳			2				2
45歳			2				2
46歳							
47歳			2				2
48歳			1				1
49歳							
50歳							
51歳							
52歳		2	4				6
53歳							
54歳							
55歳							
56歳		2	1				3
57歳							
58歳							
59歳	1	1					2
合 計	1	5	21	4	10	10	51

平均年齢 38.2 歳

外部研修等派遣状況

平成28年度

派遣先	区分	科 目	期 間	人 員
東京研修所		救急救命東京研修所（第51期）	28. 9. 1～29. 3. 13	1
消防大学校		警防科（第100期）	28. 10. 19～28. 12. 8	1
		自主防災組織育成コース（第12回）	28. 5. 23～28. 5. 27	1
三重県消防学校		初任科（第53期）救急科救急課程（第19期）	28. 4. 6～28. 12. 6	3
		救助科 救助課程（第26期）	28. 9. 12～28. 10. 14	1
		特別科 指揮課程（第4期）	28. 12. 12～28. 12. 16	2
		特別科 はしご自動車講習（第22期）	28. 12. 19～28. 12. 22	1
		予防査察科 予防査察課程（第7期）	29. 1. 30～29. 2. 10	1
		警防科 警防課程（第28期）	29. 2. 27～29. 3. 10	1
救 急		日本臨床救急医学会	28. 5. 12～28. 5. 14	1
		I S L S プロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	28. 5. 15	1
		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	28. 6. 5	1
		J P T E C プロバイダー更新コース	28. 7. 23	1
		J P T E C プロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	28. 7. 23	2
		M C L S（多数傷病者対応研修）	28. 8. 27	1
		メディカルラリー（第2回）	28. 10. 9	1
		救急コ・メディカルセミナー	28. 10. 12	3
		三重県臨床工学セミナー（初級心電図）	28. 10. 23	1
		新生児蘇生法講習会（Bコース）	28. 11. 25	6
		P S L S（脳卒中病院前救護研修）	29. 1. 13	2
		全国救急隊員シンポジウム	29. 1. 26～29. 1. 27	1
		12誘導心電図セミナー	29. 1. 28	1
		救急救命士業務実地修練	29. 2. 5～29. 2. 10	1
		B L Sヘルスケア（心肺蘇生一次救命処置研修）	29. 3. 18	1
救 助		アリゾナボータックスフレーム講習	28. 6. 29～28. 6. 30	2
		アドバンスドロープレスキュー I	28. 11. 6	2
		第19回全国消防救助シンポジウム	28. 12. 5	1
予 防		調査技術会議	28. 6. 17	1
		違反是正研修会	28. 8. 18	2
		火災調査研究発表会	28. 10. 13	1
		消防法令違反是正事例研究会	28. 10. 25	2
		製品安全業務報告会	28. 11. 11	1
		消防設備等保守点検業務研修会	28. 11. 16	1
		高圧ガス講習会	28. 11. 21	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	28. 12. 9	1
		消防法令違反是正研究会	29. 1. 29	1
	企業防災対策指導研修会	29. 2. 19	1	
そ の 他		三重県防災通信ネットワーク	28. 4. 26	2
		大型自動車免許取得（普通免許所持）	28. 5. 11～28. 8. 2	1
		大型自動車免許取得（中型免許所持）	28. 5. 11～28. 8. 9	1
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	28. 9. 14～28. 9. 16	1
		糸魚川大火現地踏査研修	29. 1. 25～29. 1. 26	2
		消防自動車機械整備実地修練研修（モリタテクノス）	29. 3. 23	5

各種訓練実施状況

平成28年度

内容	区分	延 時 間	延 人 数	回 数
消 防 操 法		12	22	4
法 学 一 般		23	19	4
地 理 及 び 水 利		38	98	32
火 災 予 防		117	227	69
勤 務 要 綱		40	100	24
消 防 行 動		34	163	29
消 防 戦 術		258	549	138
消 防 機 械		352	1,049	241
実 施 訓 練		1,115	3,425	597
訓 練 礼 式		31	180	11
救 急 学		1,189	1,157	342
体 育		56	2,386	308

消防本部(署)庁舎の概要

平成29. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6226.17㎡)				
区 分	庁 舎	仮設庁舎	訓 練 棟		
	消防署	消防本部	主 塔	副 塔	倉 庫 棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

通信施設状況

平成29. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菺野町消防本部・消防署	車載移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタルタ)	15局	菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波2・消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波2・消防団波
	半固定無線局 (デジタルタ)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菺野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菺野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波・統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局・地上局・可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	33局	こもの310~339・こもの300~302 署活1~2・消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	救急医療情報システム災害時優先電話	1台	携帯電話
	救急医療情報システム端末	1回線	
	F A X	1回線 2ch	一般用・福祉用
	A S Kメール発信システム	1式	「菺野町行政情報メール」と連動
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	救急車積載携帯電話	6台	
	衛星携帯電話	2台	
携帯電話	2台	本部1・署1	
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話・携帯電話・IP電話
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
	F A X 1 1 9	1台	
	指令メール	1式	火災指令メール
	Eメール119受信装置	2台	

※三重北消防指令センターは菺野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

現有消防車両

平成29. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両重量(kg)
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	18,790
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,140
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	7,560
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	5,880
救急1号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	2,880
救急2号車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	2,850
救急予備車		日産	高規格	三重800す2244	H18. 2. 20	3,490	2,900
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	1,660
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,120
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	2,740

消防水利状況

平成29. 4. 1現在

水利		地区					
		菰野	鶉川原	竹永	朝上	千種	合計
消火栓	管径 50 mm 以下	5		1		2	8
	管径 75 mm	172	81	98	122	111	584
	管径 100 mm	149	44	37	104	75	409
	管径 150 mm 以上	159	62	36	85	82	424
	合計	485	187	172	311	270	1,425
防火水槽	容量 20 m ³ 未満	2		2	7	2	13
	容量 20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	22	3	7	13	4	49
	容量 40 m ³ 以上	4	2	1	5	8	20
	耐震性貯水槽 40 m ³	7	1	1	2	2	13
	耐震性貯水槽 100 m ³	1	1	1	1	1	5
	プー ル	4	1	1	2	1	9
	合計	40	8	13	30	18	109
自然水利	河川	53	12	11	75	52	203
	池	10	2	3	22	12	49
	合計	63	14	14	97	64	252

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
合計	271	10,326	672	9,837	30	428

自主防災組織

平成29. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	{	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 377 人)
		鶉川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 75 人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成 69 人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成 161 人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 121 人)
合計 5 隊 総員 803 人		

(2) 自 警 団
 合計 32 団 総員 700 人

菰 野 地 区	{	神 明 区 (16 人)
		菰 野 第 一 区 (37 人)
		菰 野 第 三 区 (134 人)
		宿 野 区 (18 人)
		福 村 区 (40 人)
		神 森 区 (14 人)
計 6 団 総員 259 人		

鶉 川 原 地 区	{	大 強 原 区 (16 人)
		下 村 区 (15 人)
		川 北 区 (15 人)
		池 底 区 (12 人)
		吉 沢 区 (10 人)
		諏 訪 区 (9 人)
計 6 団 総員 77 人		

竹 永 地 区	{	竹 成 区 (11 人)
		永 井 区 (35 人)
計 2 団 総員 46 人		

朝 上 地 区	{	榊 園 区 (13 人)
		松 涛 園 区 (12 人)
		小 島 区 (20 人)
		田 口 新 田 区 (14 人)
		美 山 区 (26 人)
		田 口 区 (9 人)
		日 丘 区 (15 人)
		切 畑 区 (4 人)
		一 本 木 団 地 (10 人)
		青 葉 台 区 (9 人)
計 10 団 総員 132 人		

千 種 地 区	{	千 草 区 (23 人)
		音 羽 区 (12 人)
		潤 田 区 (34 人)
		三 滝 園 区 (39 人)
		岡 区 (13 人)
		福 松 区 (18 人)
		奥 郷 区 (10 人)
		江 野 区 (37 人)
計 8 団 総員 186 人		

緊急避難所

平成29. 4. 1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22	059-392-2436	32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	25
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2	059-394-1269	44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	84
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榑	榑公会所	大字榑303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1	059-396-4118	33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2493		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榑895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
千草	千草公会所	大字千草2763	059-394-6280	50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499		79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10		56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティーセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティーセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	農村環境改善センター	大字潤田4418	059-394-3444	17

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B & G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝上地区	朝上幼稚園・朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園・幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。